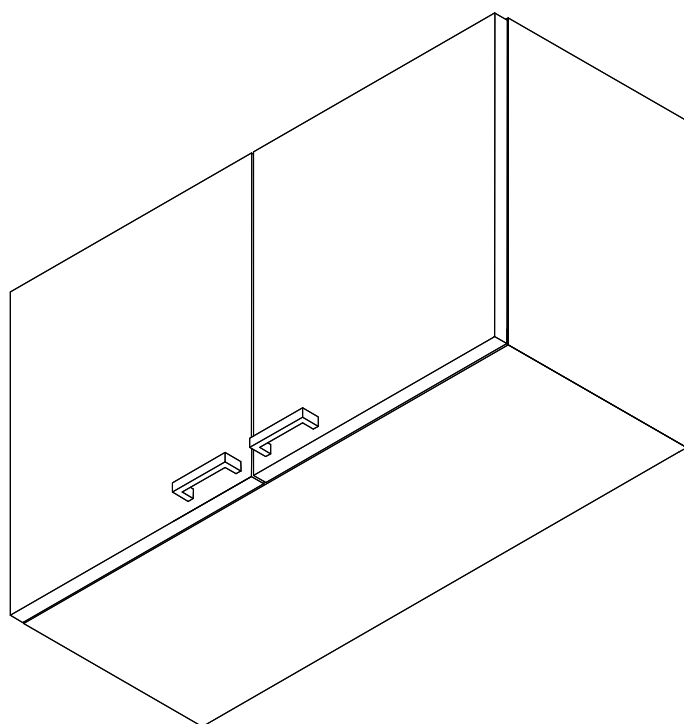


Takara standard

洗面ウォールキャビネット

取扱説明書 設置説明書



もくじ

取扱説明書

各部の名称……………	2
安全上のご注意……………	2
使用方法……………	3
お手入れのしかた……………	4

設置説明書

設置される方へのお願い…	5
設置上のご注意……………	5
設置前のご確認……………	6
設置方法……………	6
点検および仕上げ……………	7
お願い事項……………	7
アフターサービス……………	8

このたびは、タカラスタンダード 洗面ウォールキャビネットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お 客 様 へ

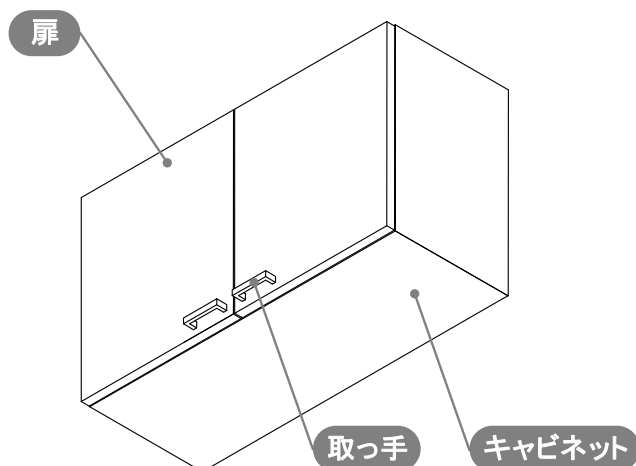
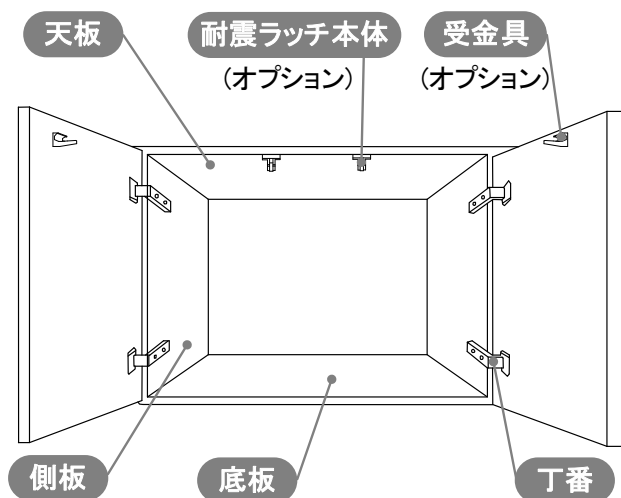
- ◆この取扱説明書は洗面ウォールキャビネットについてのみ記載されています。ご使用前に洗面化粧台に付属の取扱説明書と本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使い下さい。
- ◆この取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

設置される方へ

- ◆設置後は、洗面化粧台等の取扱説明書と共に、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

取扱説明書

各部の名称



安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 注意

- 吊戸棚に収める収納物は安定した状態で収める

収納部が落下してケガをするおそれがあります。



必ず実行

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおす

扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかってないか確認する

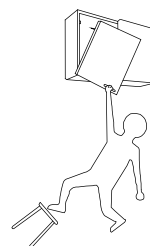
収納物が落下してケガをするおそれがあります。

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎない

扉や取っ手がはずれて、ケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



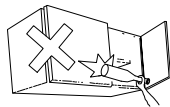
禁止



快適にご使用いただくためにお守りください。

- 扉やキャビネットに硬いもの、鋭利なものを当てない

傷、カケ等が発生するおそれがあります。



- クリームクレンザー等を使用する場合は、目立たない箇所で少しずつ様子を見ながら行う

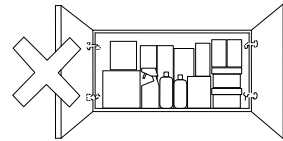
変色や光沢が変わるおそれがあります。

- 底板上に過度に重い物や偏って物を収納しない

底板が変形するおそれがあります。

* 間口10cm当たり2kg以内にしてください。

(例: 75間口吊戸棚の底板1枚につき15kg以下)



使用方法

(1) 丁番の調整方法 ※調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締めなおし、又は調整を行ってください。(図①)

※丁番には(イ)、(ロ)の2タイプがあります。

①扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかりと締めなおしてください。

②扉の前後方向の調整方法

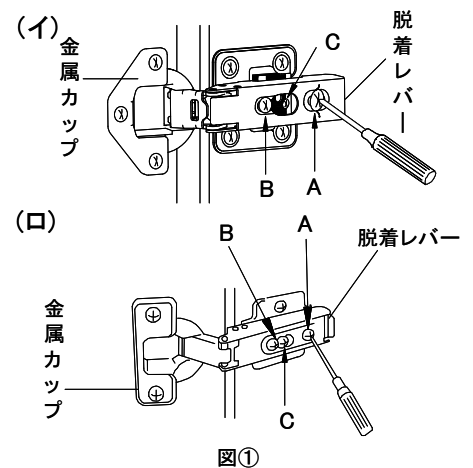
Aのネジをゆるめて前後調整した後、ゆるめたネジを締めなおしてください。

③扉の左右方向の調整方法

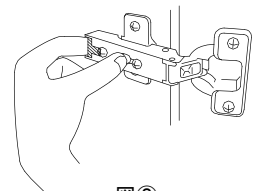
Bのネジをまわして左右調整した後、Aのネジを締めなおしてください。

④扉の上下方向の調整方法

Cのネジをゆるめて上下調整した後、ゆるめたネジを締めなおしてください。



図①



図②

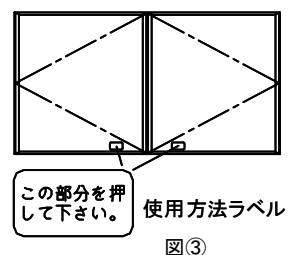
(2) 扉のはずし方

中央の穴に親指を当て、脱着レバーを人差し指で押し上げてください。(図②)

(3) プッシュラッチが付いている場合(扉に使用方法ラベルが付いています。)

<扉の開閉のしかた>

- ・開けかた: 扉の使用方法ラベル付近を押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離してください。(図③)
- ・閉めかた: 扉の使用方法ラベル付近をゆっくり奥まで押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離してください。(図③)



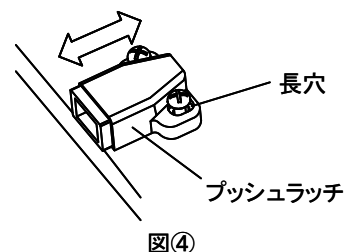
図③

ご注意: 開閉の際は、必ず使用方法ラベル付近を押してください。使用方法ラベルから離れたところを押すと、正しく開閉できない場合があります。また、扉を押し続けると、扉が変形して正しく開閉できなくなるおそれがあります。

<調整のしかた> ※調整には+ドライバーが必要です。

プッシュオープン扉が作動しない場合や、扉の前後調整を行う場合は、下記の要領にしたがって、プッシュラッチの位置を調整してください。

- プッシュラッチの取付穴が長穴になっていますので、ネジを緩めてプッシュラッチの位置を調整し、ネジを締めなおしてください。(図④)

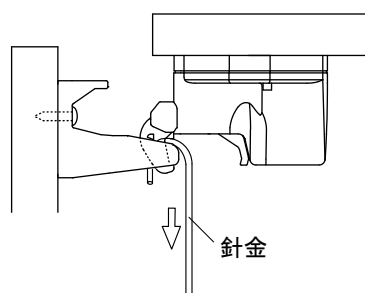
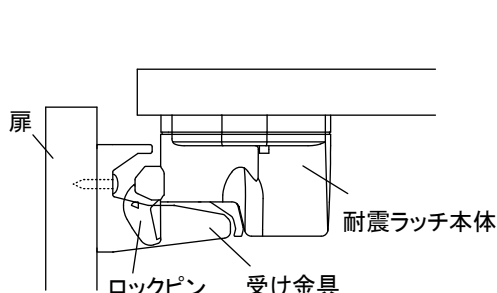


図④

(4) 耐震ラッチが取付いている場合

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し、扉が開きかけた時にロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。
(このとき、扉は2～3cm開きます)
- 通常使用(扉の開閉)においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。
ただし、キャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ①扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具に引っかけてください。
- ②一度扉を閉じてください。
- ③針金を下方に引きながら扉を開けてください。



ご注意: 強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。

お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日常のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

キャビネット、扉部その他のお手入れ

水を含ませ固くしぼった布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませ固くしぼった布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



「故障かな？」と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前に次の点をお調べください。それでも具合の悪いときは、次項目にしたがいお申し付けください。

現 象	確 認 事 項	処 置
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形していませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締めなおしてください。それでもなおらない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

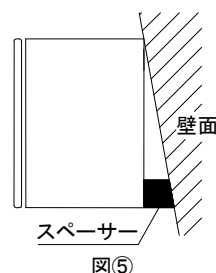
設置説明書

設置される方へのお願い

- 設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置作業を行ってください。
- 本説明書は、洗面ウォールキャビネットについてのみ記載されています。キャビネット本体およびミラー部についてはそれぞれに付属の説明書にしたがって設置作業を行ってください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本説明書はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

設置上のご注意

設置する壁面のタチ、カネ(垂直、直角)がでていることを確認してから設置作業を行ってください。壁面がゆがんでいると、扉に段違いが発生したりキャビネット間にスキが発生して、きれいに収まらない場合がありますので、キャビネットと壁面の間に適当なスペーサーを入れて調整してください。(図⑤)



必ずお守りください(安全上のご注意)

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



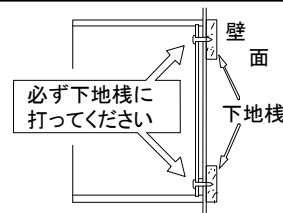
このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

警告



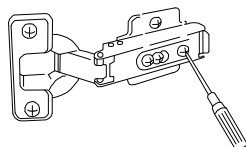
- キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地材があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通りに確実に打つ※「(2)ウォールキャビネットの設置(P6)」参照

ネジ打ち部分に下地材がなかったり下地材の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが脱落して大事故につながります。



注意

- 設置完了後、扉の丁番固定ネジがしっかり締まっているかを必ず確認し、ゆるんでいる場合は締めなおす



扉が脱落してケガをするおそれがあります。



- 取付、仕上げ作業に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類については、容器等に記載の注意表示にしたがって、正しく使う



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

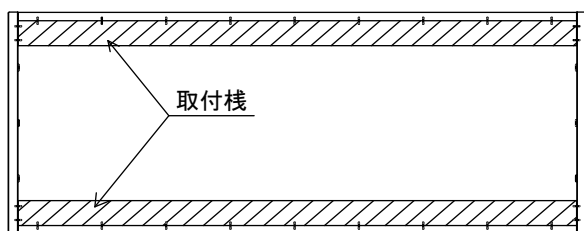
快適にご使用いただくためにお守りください

- 設置途中で製品を仮置きする場合は段ボールを敷く等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。
- 汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。
- 設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

設置前のご確認

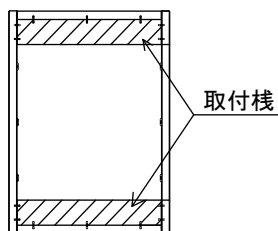
キャビネットの固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm・幅100mm以上の合板が貼られているかを確認してください。

標準取付け寸法及び取付桟位置



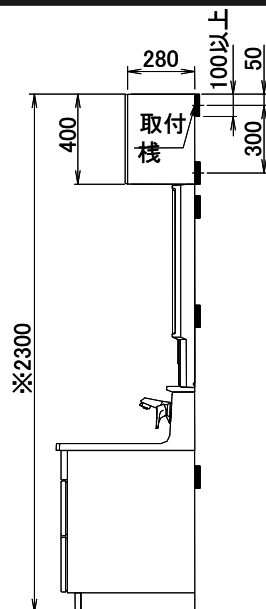
間口60～120

キャビネット背面図



間口30

※印はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。
 カウンター高さ80cmの場合は、+50mmとなります。
 カウンター高さ85cmの場合は、+100mmとなります。
 そこまでホーローラック設置の場合は、+50mmとなります。



取付桟位置

設置方法

下記の順序にしたがって作業をおこなってください。

- (1)付属部品の確認 → (2)ウォールキャビネットの設置

(1)付属部品の確認

下記の付属部品が必要数同梱されていますので、設置前にご確認ください。

	部品名	数量
ウォールキャビネット	皿タッピンネジ(4.5×60)	5
	皿タッピンネジ(3.5×27)	3
	ネジキャップ	8
	取扱設置説明書	1

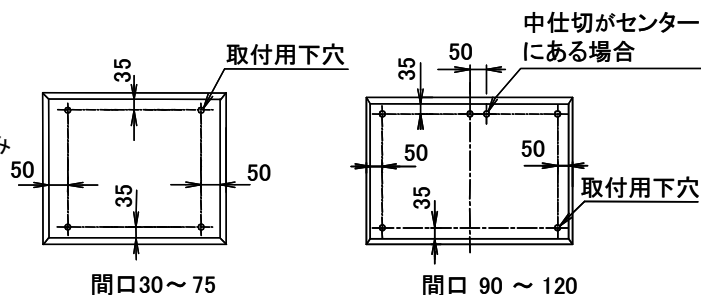
(2)ウォールキャビネットの設置

下記の手順で設置してください。

- ＜①壁面取付用下穴の加工＞ → ＜②連結用下穴の加工＞
 ※キャビネットを連結する場合のみ
 → ＜③壁面取付及び連結＞

＜①壁面取付用下穴の加工＞

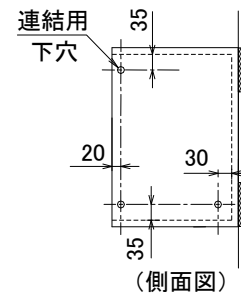
所定の位置に壁面取付用の下穴(φ4.5穴)を加工してください。(図⑥)



(正面図)

図⑥

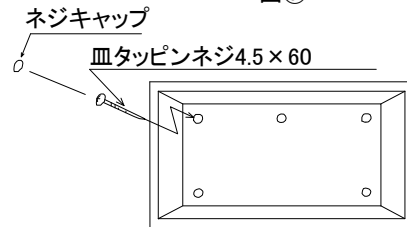
〈②キャビネット連結用下穴の加工〉 ※キャビネットを連結する場合のみ
連結するキャビネット側板のどちらか一方に連結用下穴
($\phi 4.5$ 穴)を加工してください。(図⑦)



図⑦

〈③キャビネットの壁面取付及び連結〉

①で加工した壁面取付用下穴より、ネジ(皿タッピン
ネジ4.5×60)で壁面に取付けてください。
固定したネジ頭にネジキャップを取り付けてください。
(図⑧)



図⑧

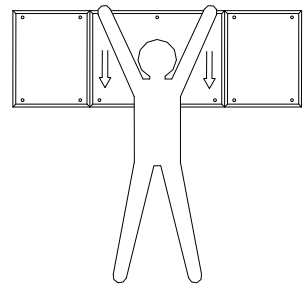
ご注意: 下地の木質棧にネジバカにならないようにしっかり
固定されていることを確認してください。

キャビネットを連結する場合は、②で加工した連結用下穴より隣接するキャビネット側板にネジ(皿タッピンネジ
3.5×27)でスキがでないように連結して、ネジキャップを取り付けてください。

点検および仕上げ

安全確保のため、必ず実行をお願いします。

- 扉にガタツキ、段違いがある場合は、「丁番の調整方法(P3)」にしたがって調整してください。
- プッシュオープン扉が作動しない場合は、「プッシュラッチがついている場合(P3)」にしたがって調整してください。
- 設置時に製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませかたくしぼった布で洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。
- 壁面へのネジ固定が確実にされているか、下記の2点の方法で確認してください。

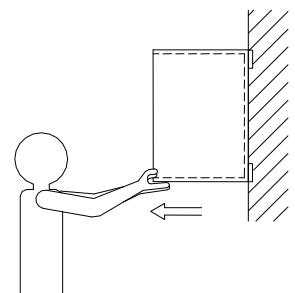


図⑨

- ①ウォールキャビネット天板ぶら下がり確認
セット間口センター付近のウォールキャビネット天板(側板や中仕切のある近辺)にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図⑨)

ご注意: ウォールキャビネットの底板にはぶら下がらないください。
底板が変形するおそれがあります。

- ②ウォールキャビネット底板引っ張り確認
ウォールキャビネットの底板を引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無い確認してください。(図⑩)



図⑩

お願い事項

- 製品の養生
すべての作業が完了したら、製品を保護養生してください。
- 取扱説明書の保管・引渡し
洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
- 梱包材その他の工事部材の処理
梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

アフターサービス

タカラスタンダード製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記WEBサイトまたはフリーダイヤルよりご連絡ください。

WEB

【タカラスタンダードお客さまサポートサイト】

<https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>



お電話



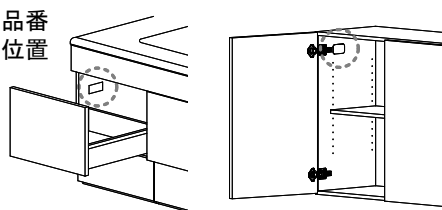
0120-557-910

※携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番(キャビネット内側面に表示)
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

製品品番
表示位置



【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

タカラスタンダードお客さまサポートサイト <https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

＜修理のご依頼＞

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。

修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

＜よくあるご質問＞

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。

修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

＜消耗品・小物のご注文＞

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)まで お問い合わせ願います。

〈お客さまサポートサイト〉



※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。
詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

廃棄部材を不法投棄された場合、廃棄の依頼者も法律違反で罰せられます。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

トリアツカイセツセツメイショSW(5)
25H-3



* 1 3 0 2 5 7 2 7 *